



# 安中だより

【第19号】

令和8年 3月 23日

TEL 32-0057 FAX 32-4377

【文責 校長 浦島 容子】

## 令和の安中生！

さらに変化を起こしています。図書委員会が小学生への読み聞かせを継続しています。小学生から「中学生の本読みが上手すぎて面白い」と好評です。回数を重ねるごとに小学生は前のめりて、感想を言います。青柳小と本庄小も配信を通して、小学生は「ありがとう」と喜んで



います。朝、旗を持って車に一時停止をお願いし、小学生を安全に横断させています。安曇川町の小中一貫教育を子どもたち自身が展開しています。

福祉祭りの支援活動、福祉フォーラムでの募金活動、朝の挨拶運動など、ボランティアで参加する生徒が増えています。地域の方と一緒に地域で力強く貢献する生徒の姿に出会うことが多くなりました。



戦後80年平和をつなぐ集い「ぞうれっしゃがやってきた」が行われ、約500人を前に、生徒が「アンパンマンマーチ」をテーマとして、平和へとつなぐ思いを伝えました。「安中生がしっかり話しましたね。「正義に」について考える3人の言葉が胸に響きました。時代が変わりましたね。」と、市外から来られた方の言葉です。安中生の活躍が市内外に広がっています。

吹奏楽部がミニコンサートを開きました。楽器を始めて1年生は1年、2年生は2年、こんなにも力をつけるのかと驚きます。これから、吹奏楽部は人の心を感動させる音楽を演奏すること間違いなしです。



書道部が創作にチャレンジし、昇段試験を受験しています。英検にチャレンジした生徒がいます。運動部活動も強化練習や練習試合を重ねています。柔道や空手、小学校から積み重ねたことを今も継続して鍛えている生徒がいます。テニスで強化選手に選ばれた生徒、ハンドボールで優秀選手に選出された生徒もいます。一年で成長した自分に誇りをもって、進級してほしいと思います。

地域の方々と保護者の皆さんの支援を支えとして、教職員一同、生徒の成長を信じ、教育活動に取り組んできました。それぞれの子どもの主体性が様々な場面で見られるようになった一年でした。

## 3年生が 後輩たちに

制服姿で学校にいてはいませんか！一週間も経たないのに懐かしく、大人になったようにも感じました。朗らかに高校で頑張りたいことを話す姿に嬉しくなります。

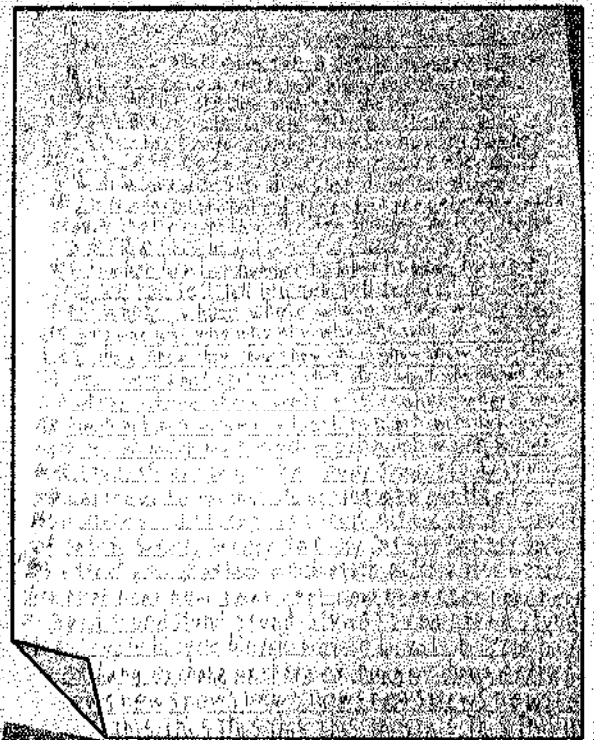
学校に来た理由は、進路選択と受験勉強について、これまでの経験とアドバイスを2年生に話すためでした。

- ★「もうやり始めるのが良い」
- ★「新研究をやりまくる」
- ★「長文を読むことが多いので、読書をするのが良い」
- ★「オープンキャンパスはたくさん行くと良い」

と、アドバイスしたようです。

右の写真は、ある生徒の受験勉強ノートの一部です。英語を何度も繰り返した跡がびっしりです。他の教科も同じく、毎日続けました。すごい努力です。

3年生の話から、目指す進路をしっかりと考え、話す2年生が増えてきました。2年生の進路選択がいよいよ始まります。



## 「ありがたいなあー」

3月17日の朝、階段を駆け上がる子どもたちの言葉です。給食委員会の発案で、地域と保護者の方々とのコラボで実現しました。

「朝食は一日のエネルギー！」校友会の生徒が昇降口で呼びかけました。子どもたちは、足早に会場へ。

朝ご飯とともに、元気に一日をスタートしてほしいという地域と保護者の願いが込められています。早朝から温かい。子どもたちは、できたてのおにぎりをいただき、笑顔であふれます。

ぬくもりに包まれて、子どもたちは豊かに育っています。ぬくもりは頑張る原動力です。

登校や朝読書の見守り、学校行事への支援・応援に感謝でいっぱいです。

この地域の学校であることを幸せに思う日々です。

2026年度もより良い学校へと進んでいきましょう！

